出題趣旨・採点基準（行政法）　配点 50 点

本問は、申請手続を契機とする応答留保の行政指導に対応するための手段と、指定取消しの取消訴訟に関する訴えの利益の理解を問う問題である。申請手続を契機とする行政指導については、通知がいかなる法的意味を持つのかを検討した上で、これに対応するための行政手続上の対応や訴訟類型の選択を論じることが必要である。また、指定取消しの取消訴訟に関する訴えの利益については、当初の指定期間満了後でもなお指定取消しによって回復すべき法律上の利益が存在するかを、参照条文の読み解きながら論じる必要がある。採点に当たっては、事実関係を正確に理解し、法的評価を適切に行った上で、行政法総論・行政救済法上の論点を説得的に論じることができているかを重視した。